

京都あぐり便り



第92号

写真:宮津市「天橋立」

近畿農政局京都府拠点
発行:令和7年12月9日

もくじ

- P 1 · 近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第9回）の選定結果を公表しました！
- P 2 · 現場だより「京野菜等を植付けから収穫まで！大自然の中で農家の日常を体験」Ties農縁（京丹波町）
- P 3 · 長岡京市農業祭に出演しました。
- P 4 · 米の消費動向・水田政策に係るアンケート調査の実施について / ~最近の各種統計情報の公表について~/ 広報誌の紙での配布終了のお知らせ

近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 (第9回) の選定結果を公表しました！

～近畿における地域の活性化や所得向上の優良事例を選定～

農林水産省及び内閣官房は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の地域資源を引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第12回選定）として選定しました。

近畿地区から応募のあった事例には、今回選定された取組以外にも優れた取組があることから、近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第9回）として独自に選定を行ったところ、8地区が選定され、京都府内から以下の団体が選定されましたのでお知らせします。

【選定結果】

府県/市町村	団体名/氏名	部 門
京都府 舞鶴市	株式会社Muroji-farm	ビジネス・イノベーション



【取組の概要】

株式会社Muroji-farmは、高齢化が著しい限界集落において、地域の魅力向上や発信、関係人口の増加を図ることを目的に観光農園「ブルーベリーバレーまいづる」をオープン。

豊かな自然環境を活かし、40品種600本のブルーベリー狩りとハーブ園・健康志向の農園カフェを核とした体験型農園を運営。健康に配慮したメニューの展開や地元のビール醸造企業との協働によるクラフトビールを発売し、さらには就農や田舎暮らし希望などの参画者をつなぐ拠点として発展させることを目指して取り組む。

これらの取組は、地域資源の活用、6次産業化、交流の促進、所得・雇用の増大や、関係人口の創出など、地域活性化に寄与。



【ウェブサイトアドレス】

「プレスリリース」近畿農政局ウェブサイト

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/251127.html>

【お問合せ先】

近畿農政局 農村振興部 農村計画課

代表：075-414-9161 ダイヤルイン：075-414-9051



現場だより



京野菜等を植付けから収穫まで！大自然の中で農家の日常を体験

Ties 農縁（京丹波町）

自然豊かな京丹波町の和知地区で体験農園を主体に経営されている、Ties（タイズ）農縁園主の千住 麻努可(センジュウ マドカ)さんにお話を伺いました。（取材日：2025年11月）



Ties 農縁 園主の千住 麻努可さん

ベランダのプランター栽培から農業へ参入

Ties 農縁 園主の千住さんは、マンションのベランダでのプランター栽培から果樹栽培に興味を持ち、もっと広い土地で栽培を行いたいという思いが講じ、農業外から農業に参入されました。

現在は京丹波町で約100aの農地を取得され、体験農園を主体に経営されています。



京丹波の山並みに囲まれた圃場

京野菜を主体に様々な野菜を生産

大阪から高速道路で90分という地の利がありながら京丹波の豊かな大自然を満喫できることが魅力の一つです。圃場では、京野菜である万願寺とうがらしや海老芋・筍・幻の枝豆と言われる黒枝豆・珍しい品種のじゃがいも・季節毎に収穫体験できる野菜を栽培されています。また、珍しい野菜『ウチワサボテン』もハウス内で栽培されています。



耕うん機の操作を説明

農作業を体験

農園では、農家の日常の作業が体験できます。耕運機やトラクターを実際に運転しながらのほ場の耕うん作業、草刈・種まき・植付・仕立て・芽かき・摘果・追肥なども体験でき、季節の野菜を収穫したり、販売に向けた選別や袋詰め・ラベル貼りまで参加者の年齢等に合わせて体験することができます。



進化を止めない体験の場

開設から8年目を迎え、子供から大人まで楽しめる体験施設として人気が広がり、遠方からの来園者も多いとのこと。農作業の後は、古民家を改装した休憩所で窓いだり、BBQを楽しめるスペースもあります。将来は、宿泊もできる施設にしたいと計画されています。

ふれてみませんか？農業に（近畿農政局ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/kinki/keikaku/tosizumin/index.html>



作業後にBBQも楽しめます

長岡京市農業祭に出展しました

京都府拠点は11月23日（日曜日）、長岡市にて開催された「第17回長岡京市環境フェア×第48回農業祭合同開催」に出展しました。

当市は、「めざせ！『農』にもやさしいゼロカーボンシティ～をテーマに、様々な体験ができる企画ブースや物販ブースなど、盛りだくさんの企画で開催され、多数の来場者で賑わいました。

拠点出展ブース前では施策の紹介や有機農産物に対するイメージなどのアンケート調査も実施し、今後の施策に活かせるよう、取組みました。

アンケート結果からは自給率を高めるのに必要なこととして「国産品の購入」が昨年と比べ20ポイント上昇しました。



施策のご紹介と併せて来場者アンケートにて貴重なご意見をいただきました。



会場にて、ご挨拶される 中小路市長



農業施策についてのご意見は今後の参考とさせていただきます。ありがとうございます。

会場は天候にも恵まれ、賑わいました。

米の消費動向・水田政策に係るアンケート調査の実施について

令和9年度（2027年度）から実施する水田政策の見直しに向けては、消費者の皆様を含め、関係者の皆様の幅広い意見を聞くことが不可欠です。このため、消費者の皆様を対象に、米の消費動向・水田政策に係るアンケート調査を実施します。

【調査の概要】

（主な調査項目）

- 米の価格上昇に伴う消費量の変化
- 国内の米の生産量に対する考え方
- 毎月の米の購入量
- 家庭でストックしている米の量や消費の仕方など

（調査手法）

- インターネット上のフォームを用いたアンケート（所要時間5分程度）

（調査期間）

- 令和7年11月20日（木）から令和7年12月19日（金）まで



<個人情報の取り扱いについて>

本アンケートに記載いただく個人情報は、法及び訓令に則り農林水産省が厳重に管理し、今後の水田政策の方向性を検討する目的のみ用いるものです。アンケート結果については、個人を特定できない形で集計し、上記目的の範囲で関係機関へ提供・公表することを予定しております。

【ウェブサイトアドレス】

「プレスリリース」農林水産省ウェブサイト

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s_taisaku/251120.html



【お問い合わせ先】

農林水産省 農産局企画課水田農業対策室 担当者：畑地化推進班、土地利用型農業企画調整班

代表：03-3502-8111（内線4792）ダイヤルイン：03-3597-0191

～最近の各種統計情報の公表について～



【年計調査】

- 11月28日 2025年農林業センサス結果の概要（概数値）（令和7年2月1日現在）
- 11月28日 令和7年愛玩動物看護師就職状況等調査結果
- 11月28日 作物統計調査 令和7年産麦類（子実用）の作付面積及び収穫量
- 11月25日 作物統計調査 令和7年産びわ、とうとう、うめの栽培面積、結果樹面積、収穫量及び出荷量
- 11月18日 作物統計調査令和7年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量（近畿）
- 11月18日 家畜排せつ物管理方法等実態調査（令和6年8月1日現在）
- 10月31日 農業経営統計調査 令和6年産米生産費



【ウェブサイトアドレス】

「統計情報」農林水産省ウェブサイト <https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>

広報誌の紙での配布終了のお知らせ

広報誌「京都あぐり便り」は、2016年7月創刊以来、今まで92号を発行してまいりました。当初紙ベースでの配布が中心でしたが、近年インターネットが主流となってきたことから、本年末で紙での配布を終了し、来年からはネットでの配信のみとさせて頂きます。以下のアドレスで随時掲載しておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

【京都府拠点ホームページ】

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/index.html>



【広報誌「京都あぐり便り」バックナンバー】

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/kohosikyotoagridayoribacknumber.html>

お問合せ先：近畿農政局京都府拠点

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町 TEL:075-414-9015

